

サロベツ湿原センター発・“旬”を伝える

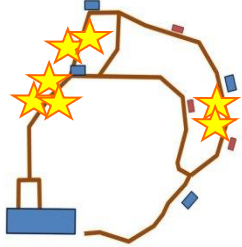
サロベツ花だより

No.8

今のおすすめは モウセンゴケ です



< 約 0.5 cm >



一周約 1km

所要時間30~40分

夏の小鳥たちの
さえずりをききながら
散策を楽しんでください

【発見難易度】 白色の花です

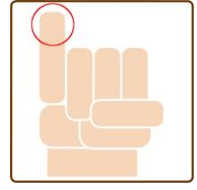
★★★★★ モウセンゴケ科

【花の高さ】



低(約 5~10cm程度)

【花の大きさ】



小指の先くらい

【漢字:毛氈苔】

コケ(苔)と名前が付いていますが苔ではなく、花が咲く種子植物です。食虫植物で、葉から透明の消化液を出し、虫を捕らえて養分とします。一方、花はとても可愛らしく、人と同じで(?)花も見かけによりません。花は晴れた日の午前中に咲き、14時頃には閉じます。

タチギボウシ クサキカズラ科 咲いています



擬宝珠→

漢字で「立擬宝珠」と書き、つぼみの形が橋の欄干などにある装飾「擬宝珠」に似ていることから名づけられました。花はエゾシカの好物で、湿原にも食べに来ます。

ハルウツギ アジサイ科 咲いています



北海道では「サビタ」という名前の方が知られているかもしれませんが。アイヌ語では「ラスパニ」。白い花びらに見えるのは飾り花で、本当の花は白いつぶつぶの方です。

ミカヅキグサ カヤツリグサ科 咲いています



とても地味な花ですが、白い小さな穂が花で、それが三日月に見えることから名づけられました。高層湿原に咲く貴重な花で、氷河期の生き残りと言われていています。

【発行】 サロベツの大地とあなたをむすぶ
認定 NPO 法人サロベツ・エコ・ネットワーク

TEL 0162-82-3950 FAX 0162-73-0360

Eメール info@sarobetsu.or.jp

ホームページ『サロエコ』で検索

http://www.sarobetsu.or.jp/

Facebook も見てね!